

第 1 回 下田市総合計画外部評価委員会 議事録

日時：令和 4 年 8 月 4 日（木）

9：55～12：00

場所：下田市役所 2 F 大会議室

- 1 開会
- 2 委員の紹介
- 3 委任状の交付
- 4 課長挨拶
- 5 委員長、副委員長の選出
委員長、副委員長決定
- 6 議事
(1) 外部評価の概要・進め方について

事務局より、総合計画外部評価の概要・進め方について説明。

【質疑・意見】

○委員

・委員数について

6名は少人数ではないか。第4次総合計画関係の委員会では15～16人だったと思う。もう少し幅広く大人数でも良いのでは。

→色々な分野からの見ていただける点では大人数の良さがあるが、一方で人数が多いと意見が出にくい場合がある。まち・ひと・しごと総合戦略協議会委員が15人だが、意見を述べる方が限られてしまうのが実情。少人数の良し悪しはあるが、今回は皆さんからさまざまなご意見をいただき、活発な意見交換の場とするため6名とした。

○委員

・来年度は令和4年度実績の評価をするということか。

→そのとおりです。

・公表の仕方について

内部評価も公表するのか。内部評価と外部評価の2段階で公表してもいいのでは。

→今回初めての外部評価であるため、公表の仕方については要検討していく。

(2) 外部評価

- ・分野 2 子育て・教育
- ・分野 3 観光・産業・雇用・移住促進
- ・分野 4 都市基盤整備
- ・分野 5 危機管理

事務局より、資料に基づき第5次下田市総合計画内部評価（対象：令和3年度）について説明。

○委員

・評価について

- ・問題点とピックアップして、それについて評価した方が効率が良いのでは。1つ1つやるよりというよりは特に進んでいないものについて評価するのはどうか。
 - ・こういう理由でBとしたというのがわからないと、主な取組を探さなければならぬわかりにくい。評価も難しい。
 - ・資料1の12ページ1-3について、3つの主な取組に対して、下の評価・課題・今後の展開の内容が対応していないのでは。
 - ・評価は点数化した方がわかりやすいのか、あるいは「実施した」「実施しなかった」「着手のみ」のような形にするとか。
 - ・評価について公表するというのであれば、もっとわかりやすくするように検討してほしい。
 - ・資料1の11ページ、男性の育児参加の啓発について、やらないといけない業務が見えない。
 - ・達成状況〇%という評価自体が難しい。文章で説明するより、「やった or やらなかった」を示す方が良いのでは。
 - ・数値目標のあるものと数値目標を立てられないものがある。数値目標で評価できないものについても評価しなければならないため難しさがある。
- 数値で表せるものと、それができないものがA～E、主な取組として記載している。1つ1つというよりは進んでいない施策や取組について質問・意見をいただき、どうするか確認する必要があると思う。
- 評価シートの構成について変更が必要だと思う。再検討する。

○委員

・会議の在り方について

- ・市としては外部評価委員に何を求めているか示していただきたい。
 - ・この会議ですることは、各担当課における評価がA～Eとあるので、それについて具合的な内容、実績について市に質問するというということでもよろしいか。これからの会の進め方については。
- 質問・意見を質問シートに記載にいただき、各担当課に確認し、その後第2回目の委員会で回答し、外部評価をしていきたいと考えている。

・評価について

- ・資料1の11ページ、子育てサポーター養成講座やファミサポについてDとなっているが、実績はどうなっているか、具体的な内容がわからないと評価の基準がわからない。
- ・資料1の12ページ、地域ぐるみで児童・生徒を支える体制づくり（コミュニティ・スクール）の検討について、D評価はなぜなのかとの意見が出たが当然だと思う。CSとは地域の住民を学校に呼び地域のみならず子どもたちが触れ合う場を作ること。数年前の下中の例では、調理室の空きがあれば地域の料理教室で使ってくださいなどCSの場があったが、校長先生が変わると引き継がれないことがあった。教育委員会のリーダーシップが求められるのではと感じた。

○委員

・達成状況の表記について

- ・◎、○、△という書き方は非常にわかりにくい。評価の仕方が異なるとオブラートになってしまふ。総合評価については◎、○、△ではなく、数値で表すべきである。何のための基準なのかははっきりしないため、明確にすべきである。A～Eに統一した方がわかりやすい。

→評価方法の課題であり、事務局としても悩んだ部分である。ご意見として頂戴し今後見直していく。

- ・目標値があつての達成率というのが一番正しい数値である。数値目標のないものも評価しようとしている。形を整えた方が良い。

- ・A～Eにした理由がわかるように記述すべき。

→今後は下欄の主な取組で、A～Eにした理由を説明するような書き方にしていきたい。

- ・子育てについて大枠はこうで、問題点があるならばそれについて協議していく方が効率良いのでは。外部評価委員会で協議したい評価であるならば、そこを取り上げて協議するよう事務局で誘導していただきたい。

- ・目標があつて達成度をもう少しはっきり部門によって説明していただければ、もっと色々な意見が出ると思う。

→ご意見として頂戴し、今後の評価の仕方について検討する。

- ・目標値が目指す姿に入っていない。人口が増加しないのは出生率が伸びないからと見て取れるが、出生率にこだわる必要はないと考えている。教育を受ける子どもたちの年代層をどれだけ呼び込めるかという施策を実施して、達成率はこういう年代が増えていない、だったらやり方を変えてみるというようにする必要がある。各施策の目標値があつて、全体の分野の目標値に繋がっていく構図が見えればもう少し評価の仕方がわかるようになると思う。出生率に加えて、子育ての人口がどれだけ増えたかというのを見る必要があるのではないか。

- ・財政ありきの施策になっているように見える。民の力もっと取り入れて施策を考えていく方が良いと思う。

→ご意見として頂戴し、検討していく。出生数については産む世代数が少ないので、その数を5年で増やすというのは不可能。移住により子どもの人数を増やしていくのも一つの考えだが、目標設定に対する考え・指摘もいただければと思う。

- ・主な取組の評価の総評が達成状況として示されているが、達成状況◎となつていても実際の状況を見ると△だと思われるものがある。

→資料1の16ページ、観光分野を見ると、観光レクリエーション客数の数値が下がっているが、主な取組の評価は全体的に高評価となつていて、コロナの影響はあつたが、市としての取組は実施したということになっている。特に観光・産業については、コロナの影響で実態との乖離する部分があるので、ご意見等いただければと思う。

○委員

・評価について

- ・資料1の11ページ、子育てアプリやSNS等を活用した子育て情報の発信について、B評価となつており割と高評価だと思うが、実際はどうかと疑問に感じる。子育てアプリについてはあまり活用されていないように思う。SNSの発信についても、こちらが頼んでから発信することが多かったので、この評価に疑問が残る。

- ・資料1の12ページ1-3について、評価がC、D、Dとあまり良くないが達成状況は○（一部遅れはあるものの目標達成に向かっている）となつているがどうなのか。教育・保育事業の人材確保・育成については、人材不足という声を聞いているが、達成状況を○としたのはどうしてなのか。

○委員

- ・評価について
 - ・評価のベクトルがわからない。分野ごとに担当課の説明がないとわからない。
 - ・達成状況の見せ方について、横軸で表すとわかりやすいのでは。
 - ・◎、○、△と示すのではなく、「概ね順調に目標達成に向かっている」のように言葉で示す方がわかりやすいと思う。

○委員

- ・評価について
 - ・主な取組について、内部評価と課題が一緒に書いてあればわかりやすいと思う。
 - ・外部評価シートは分野ごとになっているが、全部の取組を網羅するのは大変。外部評価の進め方について、重点施策を選定するのであれば★印の重点事業に絞って外部評価を行うということが良いか。4つの分野を選定した理由は何か。
- 総合計画で【重点】が付いている施策、取組を選定した。

◎今回はそれぞれの取組の内容がわからない中で、評価するのが大変困難である。
9/20までに評価シートと質問・意見シートを記入し返送していただく。

(3) 第2回外部評価委員会のスケジュールについて

- ・10月頭頃に開催予定。
- ・9/20までに事前に評価シートと質問・意見シートを返送していただく。
- ・外部評価委員さんの意見を取りまとめる。

7 閉会

第2回 下田市総合計画外部評価委員会 議事録

日時：令和4年10月4日（火）

14：00～15：50

場所：下田市役所2F 中会議室

1 開会

2 課長挨拶

3 議事

(1) 評価、質問・意見等の確認

事務局より、外部評価果、質問・意見等に対する各課の回答、及び内部評価シート（案）について説明。特に要望の多かった調書の改善については、目標値の達成状況の毎年の推移がわかるよう表記したこと、施策ごとに主な取組・評価・評価の根拠・課題・今後の展開・（今後）継続・改善・中止を明記するよう改善（案）としたことを報告した。詳細は別紙資料1、資料2、資料3-1、3-2、3-3のとおり。

【質疑・意見】

○委員

- ・A～Cの評価は付けにくかった。
- ・皆さん、コロナの影響を受けている事業はどのように評価したか。例えば、観光関係でコロナの影響はあったが○○の推進は実施したということで、高評価をつけている場合等、評価の判断が難しい。

○委員

- ・評価の仕方がはっきりしなければ、はっきりした評価が出ない。評価はやりにくかった。

○委員

- ・資料1について、「※ABCによる評価は困難」とあるが、分野ごとの総合的な評価は困難であったため、意見を多く出した。
- ・施策の中で、主な取組ごとにウエイトが違うため点数化するとわかりやすい。

○委員

○委員

- ・施策ごとの達成状況について、◎○△の基準があるとわかりやすかった。

○委員

- ・主な取組の項目が多いため、重点事業（★印）を見て評価した。

○委員

- ・評価シートを改善するということで良いか。資料3について、以前よりはわかりやすくなった。

○委員

- ・資料3-2の内部評価について、A～Cの3段階評価だとBの範囲が広がってしまう。20%刻

みの5段階評価の方が良い。パーセント表記だとよりわかりやすい。

○企画課

- ・資料3-1、3-2作成時点では、パーセンテージを設定すると評価基準の判断が難しいため、3段階評価だとわかりやすいのではと考えていた。しかし、評価する担当課としても5段階の細かい評価の方が良いと思う。パーセント表記についても検討する。

(2) 最終評価について

【質疑・意見】

○委員

- ・外部評価委員会としての分野ごとの評価について、A～C評価を付けるのではなく、文章で示すのが良いと思う。(例)分野2について、○○は概ね良いが××は改善が必要である。
- ・個々の取組について評価しているのであれば、施策・分野ごとの評価は出す必要ないと思う。施策の達成状況を表すならパーセント表記にするべき。
- ・内部評価で達成状況を示し、それに対して外部評価で議論するというのも一つだと思う。

○委員

- ・外部評価は、内部評価が適正かどうかを判断するものである。
(例)内部評価で子育て分野は60%評価でした。60%と評価したのは適正かどうかを判断する。内部評価がきちんとできていれば、外部評価で内部評価は適正かが判断できる。

○委員

- ・内部評価がきちんとできていないため、外部評価で適正か判断するのが困難だった。

○企画課

- ・外部評価委員会の実績として、A～C評価でなくとも言葉でまとめをして公表したいと考えている。経過として何かしらの形で残したいと考えている。

○委員

- ・各分野で意見として総評を付けるべきだと思う。事務局で総評を作成し、それを確認したうえ総評と指摘事項として公表するのが良いのでは。
- ・資料3-1の目標値の達成状況の折れ線グラフについて、目標値のスタート時がわかるようにするべきである。

→ご指摘のとおり修正する。(企画課)

○委員

- ・今年度については、外部評価委員会の結果、よりわかりやすい調書に修正した。そして来年度は新調書に基づいて8分野適正にやっていくという形で良いのではないか。
- ・最終的なとりまとめ、分野ごとの総合評価を文章で表すのは難しい。

○企画課

- ・施策、事業は効果的か、どういう改善が必要か等コメントをいただければと思う。

○委員

- ・文章で表すと、計画以上のことを求めてしまう可能性が出てくる。

○企画課

- ・総合計画の作りについて、重点事業の中で目標値が設定されているものとそうでないものがあり、また、重点事業以外の取組が多くあるため評価にくい構造になっている。

○委員

- ・数値目標のように数値だと客観的に見てわかりやすい。

○委員

- ・総合計画上、どうしても数値で表せない心情的なものがある。

○企画課

- ・委員会の結果としては、今年は試行的に外部評価を行い評価方法の研究をした。今年は4分野を対象とし来年残りの4分野を評価する予定だったが、来年度以降8分野実施することとする。
- ・先ほど数字の話があったが、数字の表を出すのは1つだと思う。その数字の持つ意味等は計画に掲載されていることであり、計画の数値がどうなったかというのは客観的な数字として出して良いと思う。それについて何%と評価をする必要はない。あくまでも目標値に対してどういう現状なのか数値・グラフとして出すのは良いと思う。
- ・来年どういう形でやっていくかをまとめていただきたい。必要であれば今年中に新調書で内部評価をまとめ直し（内部作業）はできると思う。

(3) 来年度評価について

○委員

- ・評価調書の改善については問題ないか。

→問題なし

○企画課

- ・皆さんの評価の成果はどのように示すのか。

→調書の右端に外部評価の欄を1列追加する。(委員)

- ・施策ごとの調書でA～Cを付けるのはどうか。

→Aがいくつかから単純にAということでもいいのか、というのが気になる。できないことはないと思う。(委員)

○委員

- ・内部評価と外部評価の差がある場合は調整する必要があると思う。
- ・資料2のNo.5の意見について、発電事業については難しいと思う。

→環境への悪影響をうまく調整するというもの。目標設定時から状況が変わってきている。(企画課)

○企画課

- ・委員の皆様から出た意見を担当課にフィードバックしていく。

- ・今後について、調書を含めこちらで一度まとめをして再度相談させていただきたい。今年度の総括をしたいと考えている。委員長に一任する形でも良いか。

→総括について委員全員にメール等で送付し、意見の有無を確認していただきたい。(委員)

- ・来年度は令和4年度（単年度）に対して評価していただくことになる。

(4) その他